



## 目指せ24名の入学者

品川区立浅間台小学校校長 豊島 呈次

浅間台小学校は今年度の目標を「入学者24名以上」としました。「24名」は教育活動を行う上で最も効率的な人数だと思います。「1人1人に目が届く」「グループ活動も編成しやすい」「対抗試合もできる」色々なバリエーションの教育活動ができる人数です。



今年度の1年生は21名です。昨年度より5名多い入学がありました。浅間台小学校は全校児童106名の小規模ですが、誇れるところが沢山あります。例えば、子どもたちの挨拶。元気に明るく生き生きとしています。きっと学校にきたらびっくりされると思います。また、日



本テレビの「深い話」やテレビ東京で何回か放映された「6年生と赤ちゃんとのふれあい授業」。その他、世界児童画展（応募総数15万点）での十数点しか選ばれない「全国造形美術教育賞」等の特別賞を毎年のように受賞している図工作品の数々。今年は、フジテレビの「スプーン曲げのユリゲラーとの交流」場面も放映されました。



その他、品川区で唯一の「食農教育」を進めて、子どもたちの栽培した野菜やお米を「食農倶楽部」の人達と収穫したり調理したり会食したりと、保護者・地域の方々とも温かく交流をしています。浅間台小学校の子ども達は穏やかに優しく成長しています。

☆卒業した保護者の感想です。「何てアットホームな学校なんだろう。初めて浅間台小学校に来て思ったことです。それから6年間、子どもと一緒に学校と関わる中で、初めに思ったことと変わらず、浅間台は、私たちにとって「誇りある、皆の故郷、浅間台」でその歌詞どおりの学校です。」「浅間台小学校は、担任以外の先生も子ども達全員をよく理解していたので安心できました。先日の卒業式では、お世話になった先生方や学校の枠を超えて、仲の良い在校生全員に見送られ、お世話になった地域の方々に祝福され巣立って行きました。この小学校で過ごせたことは親子ともどもとても幸せだったと思います。

今年度は、学力向上に焦点を当てて教育活動を進めていきます。土曜日授業には、学年を越えた個人の能力に応じた12の教室を選択できたり、東京都の「言語能力向上推進校」の3年間の研究を受けたり、東海グループで小中一貫教育の学力向上の取り組みを取り入れたり、子ども達の「学力を向上させる」ための手立てを講じていきます。



小規模校のよさを生かした学習をさらに充実させて子ども達全てが「浅間台小学校に入ってよかった」と実感できるようにしていきたいと思っています。